

令和5年度 第3回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和5年8月8日（火）18：00～19：10

【場 所】 浜益支所2F 会議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 第9期浜益区地域協議会（R3.10～R5.09）の振り返り（整理用）
- 3) 地域協議会第9期を振り返って・・・感想
- 4) 「2023 荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクト」報告
- 5) 荘内日報（2023.7.25）
- 6) みんなでまなぼ 連続講座「はまます夜学」第3弾

【出席者】 8名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美		委員	細田 幸男	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり		委員	徳田 和之	
委員	岡本 俊介	○	委員	木村 美幸		委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子	○	委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子	○			

（支 所） 高橋支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）
伊藤市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）
（事務局） 佐藤地域振興課長、佐藤（慎）主査、川村集落支援員

【傍聴者】 2名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 第10期浜益区地域協議会委員の公募等について
 - (2) 防災浜リユック事業の進捗状況について
- 4 協議事項
 - (1) 第9期浜益区地域協議会の振り返り
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただ今より、令和5年度第3回浜益区地域協議会を開会いたします。
初めに渡邊会長からご挨拶を申し上げます。

2 会長あいさつ

【渡邊会長】

―渡邊会長あいさつ―

【事務局】

それでは、会議を進めさせていただきます。本日の会議は出席委員が13名中8名と過半数に達していますので成立していることを報告します。

それでは、この後の進行を渡邊会長にお願いいたします。

3 報告事項

【渡邊会長】

それでは報告事項、第10期浜益区地域協議会委員の公募等について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

第10期浜益区地域協議会委員の公募等について報告させていただきます。

令和5年9月30日で第9期浜益区地域協議会の任期が満了となります。委員の改選期にあたり、第10期浜益区地域協議会の3号委員について、令和5年8月2日より公募を開始いたしました。

3号委員は、一般公募の委員です。応募資格は浜益区内に居住する高校生を除いた18歳以上の方で、募集人員は3名です。応募締め切りは8月30日までとしております。

また、1号委員は、区内の公的な団体等から推薦される委員です。現在事務局内で、推薦依頼する団体の選考や団体へ推薦依頼する人数を検討中です。それらが決まり次第、各団体へ推薦依頼を行っていくこととなります。

2号委員は、識見を有する者になります。事務局で人選をいたしまして、就任の承諾をいただくこととなります。

以上を考慮し、第10期の委員は、地域協議会の委員定数15名の委嘱を目指して取り組みを進めて参りたいと考えております。

【渡邊会長】

事務局より第10期地域協議会委員の選考について説明がございました。質問等ございますか。

～ 確認事項意見なし ～

無いようですので報告事項の2つ目、防災浜リュック事業の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

防災浜リュック事業の進捗状況について報告いたします。自治会連合会へ防災浜リュック購入希望の取りまとめを依頼し、7月末日までの締め切りとして、現段階で約250個の購入希望がありました。

今後の流れは、自治会連合会から発注と補助金申請、物品の納入と振り分け、区民への受け渡しと同時に集金し、業者への支払いを行って、補助事業完了という流れになっております。

納入手法については、一つの品物ずつバラバラに入ってきますので支所で保管しつつ、振り分けをしながら皆さんにお渡ししていく形を取ろうと考えています。

【渡邊会長】

事務局から、防災浜リュック事業の進捗状況について説明をしていただきました。質問等ございますか。

【柿岡委員】

注文を忘れたという人や、どうやったら注文できるのか、更に欲しいときはどうすればいいかと聞かれることがあります。そういう時はどう対応したらいいですか。

【事務局】

注文をし忘れた人については、自治会を通じてご連絡いただければ、今週中まで対応可能です。各自治会で追加等が発生するのであれば、連絡を頂ければと思います。

【渡邊会長】

浜益区全体の世帯のうち、申し込みをした方は何パーセントくらいですか。

【事務局】

およそ40パーセントです。

【渡邊会長】

参考までに、柏木自治会では昨年末に意向調査を行ったときに住民の9割程度の回答を得て、防災浜リュックの購入を希望する人と購入を希望しない人のおよその割合を把握し、今回実際に購入希望者を集計したところ、意向調査時点と同程度の数となりました。

これによって、柏木地区の9割の方が災害に備えていることとなりました。

【赤間委員】

群別地区でも、自治会の班長が1軒ずつ購入希望を取っていました。この数字は支所に提出されていますか。

【事務局】

7月10日から希望調査を始めて、7月末までに取りまとめをお願いしていました。

まだ、浜益区内全地区の確定の数字ではないので、最終的には今週中に確定させる予定です。

【渡邊会長】

他にありませんか。

～ 確認事項意見なし ～

4 協議事項

【渡邊会長】

協議事項の第9期浜益区地域協議会の振り返りについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

第9期浜益区地域協議会の振り返りについて、第9期地域協議会において協議してきた内容を資料にまとめております。第9期地域協議会の任期はあと2カ月ほどです。先の新聞報道にありましたとおり、石狩市では令和7年度末をもって地域自治区を廃止する方針です。次期の第10期の地域協議会が、今のところ最後となる予定です。第9期の地域協議会は高齢者に優しいまちづくりをテーマに地元目線で浜益の街づくりに関する議論を進めてきたほか、地域振興基金の使いみち、合併まちづくりプラン、過疎計画の見直し等を協議、答申してきたところです。

次期については、地域自治区の廃止を見据えた中で、これからの浜益をこうしていきたいという地域振興策はもちろん、浜益をどうやって動かしていくか、持続可能な姿にどう導いていくかを議論していく必要があると思います。

そうした、次期の動きも踏まえながら、第9期の振り返り、第10期への引継ぎ事項をしっかりとまとめ、総括を行うことが重要であると考えます。事前に記入をお願いしておりました第9期を振り返ってと題した様式が付いているかと思います。これを基に、委員の皆さんから忌憚のないご意見を伺っていきたいと考えております。

今日の議論の結果を基に事務局で整理し、次回9月に予定している第9期最後の地域協議会の中で総括として提案させていただき、第10期の委員へと引き継ぎたいと考えています。

【渡邊会長】

事務局から説明がありました。本日は事前に配布がありました様式に基づいて、皆さんのご意見や感想、第9期の地域協議会の振り返りを、意見交換をとおして、地域協議会の総括を行って参りたいと思います。

資料の1ページ目から6ページ目までは2年間の地域協議会で協議した事項、報告事項等が記載されております。

協議した項目については7ページに、主な協議事項として、地域自治区振興事業や主要事業の概要、ワーケーション実証事業、防災浜リュック事業、それから、浜益地域おこし協力隊の募集や集落支援員の募集について記載されております。また、これまで一番多く協議された項目として、高齢者に優しいまちづくりに関する意見交換ですが、雪対策、教育・伝承、危険対策についてグループ討議行い、情報提供をいただきながら協議検討をしてきたところです。

それから、石狩市過疎地域市町村持続的発展計画についても評価を行っております。

8 ページ目は、主な報告事項がまとめられています。以上の内容について、皆さんの感想や意見、これからの地域づくりに対する思いなど、第9期地域協議会の総括をして時期委員に引き継いで行くため、資料として添付されている第8期地域協議会委員の総括の内容も参考にしながら、第9期地域協議会がうまく進めて来られたのかという所から始めて、次期へ向けた委員の皆さんの考えや思いを話していただければと思います。

【柿岡委員】

今更ながら質問です。地域自治区とは何ですか。地域自治区が無くなるというのはどういうことですか。

【事務局】

合併協議が行われたときに、厚田・浜益について地域協議会が、地域自治に必要な施策を話し合っていくことが定められたのが地域自治区です。法令で定められており、何年か経過するまで置くことができるものです。今回第10期にて地域自治区の役割は果たしたのではないかとこの所で区切りをつける方針です。

合併をした時に、合併特例債という財源が10年間使えるということで、それに合わせて地域自治区を作ったのですが、その合併特例債が10年経過後、5年ずつ2回延長されており、それ以降の更新は予定されていないとのことで、令和7年度末つまり令和8年3月31日で合併特例債が使えなくなることから、地域自治区もそれに合わせて無くなるということです。

【柿岡委員】

無くなったらどうなりますか。

【事務局】

今後、第10期の地域協議会でどのように地域自治を進めていくか考えて行くこととなります。

【柿岡委員】

浜益区が無くなるということですか。

【事務局】

浜益区という名称が無くなります。

【佐藤副会長】

石狩市浜益というような形になりますか。

【岡本委員】

石狩市実田という形になりますか。

【事務局】

住所表記については、第10期地域協議会において議論する事項になってきます。

【柿岡委員】

誰が議論していきますか。

【事務局】

第10期の地域協議会委員と区民の皆さんを巻き込んで話していくことになると思います。

【赤間委員】

浜益区というのが無くなるというのは決定ですか。以前も同様な話がありました。

浜益区というのがあることで弊害があって無くするというような話し合いになったんですか。

合併した当初にはそういうことは無かったですよね。

【高橋支所長】

合併当初は、10年期限と決まっていた。それが、東日本大震災の影響で5年ごとに延長となり、合計で20年地域自治区を置くことになったということです。

【赤間委員】

浜益区という名前があってそれを無くするのも変ですよ。

【高橋支所長】

今後の協議で話し合うこととなります。

【赤間委員】

変えることはできる状況ですか。

【高橋支所長】

協議状況によって決まることとなります。

【赤間委員】

そのように協議が出たら完全に無くなるものだと、前に話を聞いたときに思っていました。

【渡邊会長】

法令で定められた、地域自治区が無くなるという話であって、住所表記は表記変更の部分です。

【高橋支所長】

区という表記は無くなります。例えばですが、浜益実田とか浜益御料地だとか。

【渡邊会長】

区の表記は必ずなくさなければならないのですか。

【高橋支所長】

区というのは無くさなければならないです。

【徳地委員】

浜益地区だと、浜益浜益になりますか。

【佐藤副会長】

浜益茂生（もい）としたらいいんじゃないですか。

【徳地委員】

茂生の復活ですね。

【柿岡委員】

住所表記の他に、何か変わることや区が無くなることによるメリット、デメリットはありますか。こう変わるのではないかというようなことです。

【事務局】

デメリットの発生を極力避けるために、これからのまちづくりをどうしていくかという話し合いをして行くのが第10期の地域協議会になります。委員の方々だけではなく区民の意見を聞いていきたいと思っているので、住民説明会なども行いながら、地域協議会で最終的な意見をまとめて市に答申することになります。

【赤間委員】

地域協議会での検討内容が重要視されますか。

【事務局】

地域協議会では原案、たたき台を作ることになります。そして、例えばですがワークショップを開催して区民の皆さんに見に来てもらう等の機会を設けて、それを含めて検討していかなければならないと思っています。

どのような形になるかは、以前の協議会に企画課厚田浜益担当の皆さんが来ておりましたが、その方々と共に、厚田区と足並みをそろえながらの検討になるかと思えます。

まずは、住所表記の検討と、基金が継続して使えるのかどうかの確認、支所の機能や体制の検討です。皆さんの意見を出していかなければならないと思えます。

地域協議会が持つ機能を継承する団体を作る等、1年間かけて議論しながら決めていかなければならないと思えます。

【柿岡委員】

どこかで、皆で気軽に集まって意見を出して話し合えるところが欲しいですね。

【渡邊会長】

地域協議会機能の継承とそれに代わる仕組みを作って、区民の意見を市に届けることが必要だと新聞記事で市長が話しています。そして、厚田、浜益両区の支所の在り方等、地域協議会の中で議論しながら、区民と議論をしていく考えを市も話しておりますので、地域協議会が無くなったから、地域の思いや意見を伝える仕組みが無くなることはないということですから、地域自治区が無くなった段階でどういった設定をしていったらいいのかを次期の委員の中で協議していくことになると思います。

本日はその前に、2年間の振り返りについて意見ををお願いします。

そして、事務局に必ず2年間の振り返りを書面提出することとなっておりますので、8月25日までに提出するようお願いいたします。この場では任期2年間の感想をお願いいたします。

また、第9期地域協議会では「高齢者にやさしいまちづくり」について11回協議をしておりますが、現在事業が進んでいる防災浜リュック事業については、動き出して、実際に実現の段階までこぎつけたところです。

【柿岡委員】

防災浜リュック事業は基金事業ですが、基金はまだ残っていますか。

【事務局】

おおよそ、2千万円くらい残っています。

【柿岡委員】

それで、先ほど基金の残額について継続して使えるのかということなんですね。

【事務局】

浜益のこれからに生きる使い方をできたらいいと思います。令和8年3月末以降も使っているのかどうかの確認は必要です。

【渡邊会長】

次期の地域協議会委員として、地域自治区が無くなっても、基金についてはそのまま残った分を浜益の地域のために使わせて欲しいというような意見を浜益区民の総意として挙げることもできると思います。仮に意見を挙げたとしても、そのとおりになるかはわかりません。

【柿岡委員】

次期の協議会では、お茶が出たり輪になって座って話したりするのも良いですね。その方が話しやすいかもしれません。もうちょっと、ラフな感じで話せるようないい場所があると良いですね。

【渡邊会長】

肩肘張らない和気あいあいとした中で、協議会を行うことによって色々な自分の本音やアイデアが生まれやすくなりますよ。

【事務局】

集落支援員については、第9期地域協議会の中で話し合い、新たに導入していることは、第9期の大きな成果だと感じています。令和4年の4月から導入しています。

【渡邊会長】

地域協議会も一丸となって、集落支援員や地域おこし協力隊に協力していくという第8期からの引継ぎもありましたが、集落支援員のお2人は地域協議会の協力があつたと感じましたか。

【柿岡委員】

私にとっては心強い場所です。

【川村集落支援員】

貴重な場所です。皆様の顔を知ることを含めて、中心は何なのか、どんな喧嘩があるのかということ、私なりにキャッチできました。無くてはならない場所だと思っています。

【渡邊会長】

地域協議会でも、集落支援員のお2人から情報提供をいただいて、地域協議会も助かっています。様々な考え方やアイデアを含めて、浜益に長く住んでいると思いつかない部分がありますし、Uターンしてきた方々や浜益に新たにきていただいた方たちの意見というのは大事だと思っています。

【岡本委員】

委員になって、何をどうやっているのかが理解できて良かったと思います。

【徳地委員】

いつものことですが、色々な議題が出てきて、成果が出た、結果が出たものもありますが、立ち消えになって、その後どうなった、どこ行ったのかなという話題が多いと思います。資料で言えば「浜リハウス事業」とか。高齢者に優しいまちづくりで、「冬のおんしん事業」「web情報館」「浜リュック」は動きが見えているけど「浜リハウス事業」はどうなったのかなと思っています。

色々良い話題が出ていても、その後話題が出なくなったというのがよくあることだと感じます。

【渡邊会長】

そういう時は聞いていきましょう。あの事業はどうなっているのかとか。

【徳地委員】

今、資料を見て、そういえばこれどうなったのかなと思いました。

【渡邊会長】

浜リハウス事業、今私も資料を見ていて、そういうのもあつたなと思いました。あれは、柿岡委員が集落支援員として進めていますか。

【柿岡委員】

私は、空き家の調査はしていますがこの事業のことでしたか。

【事務局】

柿岡支援員が集めてくださった内容を含め、その情報を整理して公表できる形にするのが、浜リハウス事業ですが、公表する形まで整えられていないのが現状です。情報はストックされています。

【佐藤委員】

引継ぎ事項を見ても、地域の声を拾い上げていくと引き継がれていますが、果たしてそれが出来ているのかなと反省の点はあると思います。

【渡邊会長】

実施したアンケートにて住民の声を拾い上げたものはありますが、広く行っているものではないですね。事業等に特化した部分のみですね。

【佐藤副会長】

防災リュックは、川下自治会の役員の中で話が出て要望していたものなので、実現に向かって行っていて、良かったと思っています。

【渡邊会長】

地域振興のアイデアを実現可能なものにしていくために、区内の各種団体との連携、意見交換というのは、地域協議会委員が各団体から推薦され選ばれているので、委員が出身団体の中で、意見を吸い上げてこの場で話をさせていただければより良くなると思います。その辺りは弱かったなと思っています。

【事務局】

基金の使い方も含めて、団体から上がってきた意見や要望等に対して、地域協議会の中で議論していくのが本当の姿だと思っています。協議会の中でどうなのかということではなく、団体から出た意見やアイデアを検討して、その団体が実行できる形を作っていくというのが本当の流れだと思います。

【渡邊会長】

浜ワーク自体は基金事業とは関係無いですが、支所の地域振興課から支援を受けながら、徳地委員が頑張ってくれてくれたと思っています。そこで、強力なリーダーシップを持った人がこれからも出てくるような取り組みを行っていくよう、徳地委員にはそういう方々の指導も行っていてもらいたいと考えます。

【久慈委員】

色々な皆さんの意見を聞いて、今まで自分では思っていなかったような意見も大変参考になりました。

【渡邊会長】

出身団体に持ち帰って、その団体の中で話し合ってもらって活性化につなげていくというのは中々難しいと思いますが、少しでも自分たちの仲間に話してもらえれば、そこから始めるだけでもいいと思います。形にしなければならないということではなくて共有することが大切です。

【赤間委員】

皆さんの色々な取り組みについて、協議会に携わっていなければ、わからないこともたくさんありました。それに対して、自分は皆さんのように取り組めていなかったような気がします。話し合いの内容を地域に活かす取り組みまではできなかったと思います。

私自身に様々な事情があった中で、やっと今活発になってきたという所ですので。

【細田委員】

私は、僅か4カ月程度とまだ浜益にいる期間は短いのですが、3回目のこの会議に出させていただいて、ここに集まっている皆さんがまちづくりについて意見を交換しながら、少しずつできることから、進めていくということが浜益を良くしていくことに繋がっているんだろうなと思っていますし、そこに学校を入れていただいている喜び、そして区民カレンダーの中にも学校の行事や子どもたちの写真が載っているところに、凄く学校が大切にされているなと感じています。

それから、みなと祭りの時にも中学生の発表をさせて頂いたり、プレゼントさせていただいたり、それに至るまでに色々な方から応援やご協力をいただいた部分で、本当に暖かい地域だなと思っていました。

やっぱり、浜益への愛情として区が無くなるのは寂しいじゃないかという部分が、委員の皆様の浜益への愛だと感じました。私もこれからもっと強めていかなければならないと思います。

また、地域の声を拾い上げていくということが一番大事なのかなと思いました。防災リュックは地域の声を反映して進んできたことという部分で、地域の方の声を拾う方法がもっとあればいいのかなと、各地域の自治会長からこういう案が上がってきたのだけどというような、いつでもその情報が入ってくるシステムについて検討しませんかという時間があったなら良いと思います。過去の話し合いの内容等について、今はどうなっているのかというような話題にもなりましたし、大切な会議だと感じています。

資料をいろいろ見させていただきましたが、小中学校のことを気にかけていただいて、令和8年からは学園という形で今準備に動いていますので、より一層、何か気付いたことがあれば意見や発言をしていけたらと思っています。

【渡邊会長】

なかなか、この場で意見を活発に出すのは難しいと思いますので、配布されたペーパーに回答を記入して8月25日までに事務局に提出をお願いします。それを基に9月の地域協議会の中で、最後のまとめを地域協議会の中でできればと思っています。

それでは、協議事項を終わります。

本日出された意見や、ペーパーで提出いただいたご意見等について事務局で整理していただいて、次回の協議会の中で総括を行い、引継ぎ事項としてまとめて参りたいと思います。

5 その他

【渡邊会長】

それでは次にその他です。皆様から報告事項や話題提供等はありませんか。

【徳地委員】

8月7日月曜日に七夕のイベントを浜益わかもん会主催で実施しました。子どもたちが38人、そのうち浜益以外の子どもが2人で、それ以外は浜益の子どもたちでした。協力してくれた方々が25軒あり、去年のハロウィンイベント同様、たくさんのお菓子を子どもたちが持って帰った良いイベントだったと思います。また、来年も今度は群別か幌で行おうと思っていますので、その時はご協力よろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

今年は浜益地区で行ったのですね。

【徳地委員】

はい。去年はハロウィンを行ったのですが、寒かったので七夕にしてみました。七夕のほうがやっぱり暖かいので。

【渡邊会長】

実施地区を変えながらやっていると、地域の方々も子どもたちにも良いと思います。柏木地区での実施はどうか。

【徳地委員】

柏木地区での実施は迷っています。家と家の距離が離れているので。

【渡邊会長】

わかりました。また来年もよろしくお願いいたします。

【細田委員】

学校から情報提供です。北海道新聞の朝刊に暮らしのコーナーがあるのですが、8月9日の朝刊に浜益中学校の記事が掲載されます。内容は7月20日木曜日に実施した、命の大切さを学ぶ道德の授業についてです。臓器移植に対する理解をとおして、命の大切さや命の重さを考える重たいテーマではありましたが、その取り組みが掲載される旨の連絡がありましたのでお伝えしておきます。中には2人ほど生徒がインタビューされていましたので、名前と内容が載ることになっています。是非ご覧ください。

【渡邊会長】

皆さん是非ご覧ください。次回の地域協議会の新聞記事資料でも提供をお願いします。

【川村集落支援員】

前回の地域協議会で告知させていただきました、2023 荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクトの結果について2枚の資料にまとめておりますのでご覧ください。

6月20日火曜日から、7月10日月曜日まで道の駅石狩あいろんど厚田で陣屋の特別展を行いました。その間、7月1日土曜日にギャラリートーク、7月2日日曜日に陣屋跡まで来ていただいてフィールドワークを行いました。ギャラリートークは午前の部、午後の部と実施し、延べ33名の参加がありました。フィールドワークについては、石狩市役所からバスで送迎を行い11名が利用、バスを利用しなかった方も含めると20名の参加がありました。

7月8日土曜日、浜益コミュニティーセンターきらりにて、大地の侍という映画の上映会を行いました。バス利用者は17名でしたが、合計50名以上の参加がありました。映画の上映とともに、歴史研究家であり、北海道史研究協議会副会長の関秀志先生に解説をいただきました。この様子が山形県鶴岡市に拠点を置いている、荘内日報という新聞に取り上げられておりましたので、資料として添付しています。

来年度も同様なイベントを開催しようと陣屋研究会が中心となって企画をしているところです。教育委員会の文化財課から来年度の企画について助言をいただいております。

【渡邊会長】

他にありませんか。

【事務局】

8月5日土曜日に、第10回浜益みなと祭りが開催されました。物販ブースには行列ができ、ステージイベントも盛り上がりを見せておりました。浜益中学校の中学生からの贈り物ということで、豊漁太鼓にチャレンジしている姿や、修学旅行で浜益PR活動を行った収益による打ち上げ花火を上げていただいて非常に盛り上がりました。

イベントの最後に皆様から協賛金をいただいて行った花火大会には、来場者が増え大盛況のうちにイベントを終えました。鳴海漁協青年部長より、この場をお借りして、協賛いただいた方々や、お手伝いいただいた方々、来場いただいた方々にお礼を申し上げますと言付かっております。

次に、ワーケーション実証事業の一環として行っている、連続講座「はまます夜学」のご案内です。8月17日木曜日の18時30分から、旧適沢コミュニティセンターにて開催します。これまで2回実施し、ファシリテーションを中心に学んで参りました。今回のテーマは「SDGsと地方創生」です。SDGsとはどんな取り組みなのか、日々の取り組みの中で何ができるのかを知ることができる貴重な機会となっておりますので是非ご参加ください。申し込みの締め切りは、8月15日火曜日までとなっております。

【渡邊会長】

他に何かありませんか。無ければ、その他についてここまでとします。

6 次回の開催日程について

【渡邊会長】

事務局から次回の開催日程について説明をお願いいたします。

【事務局】

次回の地域協議会についてですが、おおむね9月の中旬を目途に日程を調整させていただきたいと考えています。日程調整につきましては、改めて連絡をいたしますのでよろしくをお願いいたします。

7 閉 会

【渡邊会長】

では、次回第4回目の地域協議会ですが、9月の中旬を目途にということで、第9期最後の地域協議会ですので、できましたら全員出席いただきますよう声掛けしあっていただけると嬉しいです。それでは、以上を持ちまして、第3回目の地域協議会を閉会いたします。長時間お疲れ様でした。

令和5年9月20日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之